2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　株式会社Ｌ　ｉｓ　Ｂ　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　145A　　URL　https://l-is-b.com/ja/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長CEO　（氏名）　横井　太輔
問合せ先責任者　（役職名）　取締役CFOコーポレート本部長　（氏名）　北嶋　正樹　(TEL) 03(5812)4735

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（個人投資家向け ）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,090	33.6	217	76.7	194	75.7	158	91.4
2025年12月期第３四半期	1,564	―	123	―	110	―	82	―

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　158百万円（　91.4%）　2025年12月期第３四半期　82百万円（　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2026年12月期第３四半期	30.81	―
2025年12月期第３四半期	16.14	―

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,450	2,023	58.6
2025年12月期	3,425	1,847	53.9

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　2,023百万円　2025年12月期　1,847百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2025年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	2,823	32.4	266	57.8	240	63.3	180	30.2	35.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　ー　　、除外　　ー社（社名）　ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	5,147,665株	2025年12月期	5,124,800株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,509株	2025年12月期	ー株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	5,138,195株	2025年12月期３Ｑ	5,124,800株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（追加情報） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 9
（企業結合等関係） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（１）経営成績に関する説明

当社グループは、「アイデアとテクノロジーで人々を笑顔にする！」をミッションとし、徹底した顧客志向のもと、顧客の課題をDX（デジタルトランスフォーメーション）を通じて解決するために、現場のビジネスチャット「direct（ダイレクト）」をはじめとしたサービスを、ストック収益を基盤とした現場DXプラットフォームとして提供しています。

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にある一方で、海外情勢の不確実性や物価変動の影響が続いております。当社グループが主なターゲットとする建設業界においては、底堅い建設需要が見込まれる一方、深刻化する人手不足や資材価格の高騰に加え、時間外労働の上限規制等への対応が求められております。こうした環境下、業界全体として生産性向上が重要な経営課題となっており、現場DXへの関心は一層高まっております。

当社グループは、顧客課題を解像度高く把握し、サービス開発に速やかに反映することを強みとしております。こうした強みを背景に、当第３四半期連結累計期間においては、主力サービス「direct」のID数増加や「direct」と連携するサービスのクロスセルの推進に加え、2026年4月に実施した「direct」の価格改定を通じて、顧客基盤の拡大および顧客単価の上昇に努めてまいりました。また、前連結会計年度に子会社化したIU BIM STUDIO株式会社の業績が当第３四半期連結累計期間を通じて連結業績に寄与しております。

これらの結果、当第３四半期累計期間の末日におけるARR（注１）は2,237,924千円、ストック売上比率（注２）は96.2%、当社サービスの契約社数は754社（注３）となりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は2,090,532千円（前年同期比33.6%増）、営業利益は217,445千円（前年同期比76.7%増）、経常利益は194,258千円（前年同期比75.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は158,289千円（前年同期比91.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（DXソリューション事業）

現場のビジネスチャット「direct（ダイレクト）」の顧客基盤の拡大に向けた営業活動に注力するとともに、現場向けカメラ・クラウド共有サービス「タグショット／タグアルバム」や現場業務のノウハウを動画で簡単に共有するサービス「ナレッジ動画」の新サービス利用拡大に努めてきました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は2,090,532千円（前年同期比33.6%増）、セグメント利益は225,652千円（前年同期比74.3%増）となりました。

（投資事業）

当社グループの中長期的な成長に向けて、当社グループとのシナジー創出又は財務的なリターンが見込まれるスタートアップ企業の発掘および検討に注力いたしました。当第３四半期連結累計期間においては、ファンド運営に係る費用を計上した結果、セグメント損失は8,207千円（前年同期はセグメント損失6,376千円）となりました。

（注）１．ARR：Annual Recurring Revenueの略称。各期末の月次ストック売上を12倍して算出。
２．ストック売上比率とは、売上高全体に占めるストック売上の割合を指します。
３．契約社数とは、OEMを除き、当社のサービスを有償で契約している契約元企業の社数を指します。１社の契約に対し、当該企業の外部委託先など複数の会社が利用しているケースがありますが、契約社数は１社とカウントしております。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は3,450,907千円となり、前連結会計年度末に比べ25,014千円増加いたしました。

流動資産は2,232,069千円となり、前連結会計年度末に比べ3,984千円減少いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産が139,841千円、仕掛品が7,923千円増加した一方で、現金及び預金が182,137千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,218,838千円となり、前連結会計年度末に比べ28,998千円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が64,039千円、繰延税金資産が17,538千円、ソフトウエアが14,582千円増加した一方で、のれんが41,116千円、保険積立金が20,408千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は1,426,931千円となり、前連結会計年度末に比べ150,992千円減少いたしました。

流動負債は483,373千円となり、前連結会計年度末に比べ10,687千円減少いたしました。これは主に、契約負債が50,777千円増加した一方で、短期借入金が30,000千円、未払消費税等が14,630千円、１年内返済予定の長期借入金が8,640千円減少したことによるものであります。

固定負債は943,558千円となり、前連結会計年度末に比べ140,304千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が133,392千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は2,023,975千円となり、前連結会計年度末に比べ176,006千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が158,289千円、資本金が8,860千円、資本剰余金が8,860千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は58.6％（前連結会計年度末は53.9％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年２月13日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,779,306	1,597,168
売掛金及び契約資産	403,775	543,616
仕掛品	1,016	8,939
その他	52,014	82,343
貸倒引当金	△59	－
流動資産合計	2,236,053	2,232,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,176	57,230
工具、器具及び備品（純額）	16,949	18,499
機械装置及び運搬具（純額）	4,639	2,745
土地	25,695	25,695
有形固定資産合計	108,461	104,171
無形固定資産		
ソフトウエア	47,690	62,273
ソフトウエア仮勘定	1,642	－
のれん	486,971	445,854
無形固定資産合計	536,304	508,127
投資その他の資産		
投資有価証券	410,249	474,288
繰延税金資産	48,632	66,170
保険積立金	35,191	14,782
差入保証金	46,351	44,981
その他	4,648	6,315
投資その他の資産合計	545,072	606,538
固定資産合計	1,189,839	1,218,838
資産合計	3,425,892	3,450,907

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,177	23,442
短期借入金	30,000	－
１年内返済予定の長期借入金	144,720	136,080
未払金	42,634	41,621
未払法人税等	49,064	45,789
未払消費税等	63,762	49,131
契約負債	48,318	99,095
賞与引当金	20,097	28,611
その他	71,286	59,600
流動負債合計	494,061	483,373
固定負債		
長期借入金	1,065,938	932,546
資産除去債務	2,351	1,585
繰延税金負債	15,417	9,323
その他	156	103
固定負債合計	1,083,862	943,558
負債合計	1,577,924	1,426,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	629,867	638,727
資本剰余金	2,003,537	2,012,397
利益剰余金	△785,529	△627,240
株主資本合計	1,847,874	2,023,884
非支配株主持分	94	91
純資産合計	1,847,968	2,023,975
負債純資産合計	3,425,892	3,450,907

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,564,426	2,090,532
売上原価	569,815	799,591
売上総利益	994,611	1,290,941
販売費及び一般管理費	871,527	1,073,495
営業利益	123,083	217,445
営業外収益		
受取利息	2,840	3,852
受取配当金	1	2
投資事業組合運用益	－	739
受取保険金	29	11
助成金収入	650	200
その他	224	405
営業外収益合計	3,746	5,212
営業外費用		
支払利息	10,400	17,978
投資事業組合運用損	5,887	10,311
その他	－	108
営業外費用合計	16,288	28,398
経常利益	110,541	194,258
特別利益		
固定資産売却益	－	1,544
特別利益合計	－	1,544
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	－	284
特別損失合計	0	284
税金等調整前四半期純利益	110,541	195,519
法人税、住民税及び事業税	37,087	60,864
法人税等調整額	△9,246	△23,631
法人税等合計	27,841	37,232
四半期純利益	82,700	158,286
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△3	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,704	158,289

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	82,700	158,286
四半期包括利益	82,700	158,286
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,704	158,289
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△3

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（連結子会社の事業年度に関する事項の変更）

連結子会社のうち決算日が12月末日であった株式会社directX Ventures及び３月末日であったdirectX Ventures１号有限責任事業組合は、当第３四半期連結累計期間より決算日を９月末日に変更しております。

なお、この変更が連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	8,318千円	35,563千円
のれんの償却額	7,656千円	41,116千円

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			四半期連結損益計算書計上額（注）
	DXソリューション事業	投資事業	計	
売上高				
ストック売上	1,301,481	－	1,301,481	1,301,481
プロフェッショナルサービスその他	262,944	－	262,944	262,944
投資収益	－	－	－	－
顧客との契約から生じる収益	1,564,426	－	1,564,426	1,564,426
外部顧客への売上高	1,564,426	－	1,564,426	1,564,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	1,564,426	－	1,564,426	1,564,426
セグメント利益又は損失（△）	129,459	△6,376	123,083	123,083

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			四半期連結損益計算書計上額（注）
	DXソリューション事業	投資事業	計	
売上高				
ストック売上	1,847,560	－	1,847,560	1,847,560
プロフェッショナルサービスその他	242,972	－	242,972	242,972
顧客との契約から生じる収益	2,090,532	－	2,090,532	2,090,532
外部顧客への売上高	2,090,532	－	2,090,532	2,090,532
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	2,090,532	－	2,090,532	2,090,532
セグメント利益又は損失（△）	225,652	△8,207	217,445	217,445

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（企業結合等関係）

2025年10月31日付で取得しました、IU BIM STUDIO株式会社の取得原価配分につきまして、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行いました。当第３四半期連結会計期間においても、取得原価の配分が完了していないため引き続き暫定的な会計処理を行っております。